

K120.73

42

12

# 尋常小學唱歌

東京高等師範學校教授 佐々木吉三郎  
學習院教授 納所辨次郎  
東京高等師範學校教諭 田村虎藏  
共編

第四學年下

明治  
20 10 1  
丙午

發行所

株式會社 國定教科書共同販賣所

## 緒言

本書は、現今尋常小學校の唱歌教授に、適切なる教材を供給せんとして、編纂したるものなり。而して、其教材は尋常科第一學年より、同第四學年に至るまで、各學年各學期に配當したれば、順次編を逐ひて教科用書に充て得べきものとす。編纂の際、特に注意せる諸點を擧ぐれば、左の如し。

### 一、題目

修身・國語の國定教科書に關係を有する事項、兒童の實際生活に親しき事項等に取り、以て、各教科の統一を圖り、兒童の心理的要求に適應せしめんと力めたり。

一、歌詞、初學年には、多年、小學教育に經驗を有する人の、手になれるものにつき、平易にして理解し易く、而も詩的興味

を失はざるものを選び、漸く進みては、當代名家の作を加へ、以て、純正なる思想感情の養成に資せんとせり。

一、曲節、編者多年の研究に鑑みて、兒童發達の程度を精察し、音程・音域の如何を審査し、初は、快活にして勇壯なるものより、漸次に、優雅にして醇美なるものに進め、以て、審美的感情を育成せんことを期せり。

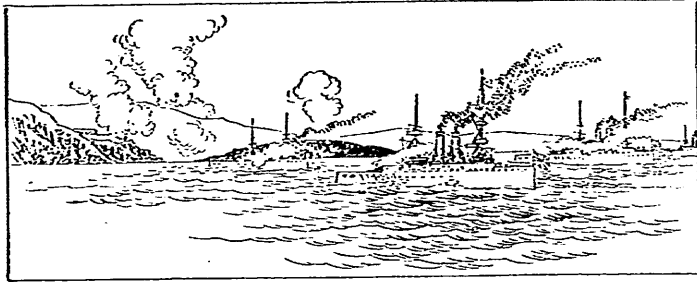
以上の外、音楽上並に教授上の、詳細なる注意等に至りては、不日公けにすべき、教授用書に詳説すべし。

明治三十八年五月廿八日

編者識

目次

一 旅順口……………	三	六 川村瑞軒……………	三
二 雪の日……………	五	七 籠の鳥……………	七
三 王政維新……………	七	八 勅語奉答〔其二〕……………	九
四 わが帝國……………	九	九 勅語奉答〔其二〕……………	三
五 昔は荒野……………	二	一〇 卒業の歌……………	五



一 千載<sup>せんざい</sup>ぬけぬ、こんきよの土地と、  
 敵<sup>てき</sup>が頼<sup>たの</sup>みし、旅順の港、  
 苦戦<sup>くせん</sup>のけつ<sup>けつ</sup>か、わが手に落ちぬ、  
 天皇陛下<sup>てんかうへいか</sup>の、みいづの下<sup>した</sup>に。  
 二百三地に、そそぎし血<sup>ち</sup>鹽<sup>しほ</sup>、  
 天地と共に、世界を照らす、  
 わが陸海軍、めいよの鑑<sup>かたみ</sup>。」

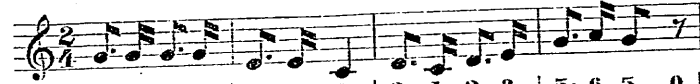
旅順口  
 大和田氏

# 旅順口

(は調二拍子)

活潑ニ

田村氏



1. センザイメケメコソノトチト  
 2. フーサノダメニソブメシカバネ



1. 1 6 6 | 5 6 5 3 | 2 2 5 5 | 3 2 1 0 |  
 テーキガタノミシリョジュンノミナト  
 ニヒヤクサンチニソソギシチシホ



5 6 5 6 | 5 5 3 | 6 6 6 1 | 5 5 5 0 |  
 クセンノケツカワガテニオチメ  
 テンチトトモニセカイチテラス



1 1 2 2 | 3 3 1 1 | 6 1 6 1 | 2 2 5 0 ||  
 テンノーヘイカノミイツノモトニ  
 ソガリクカイケンメイロノカガミ

# 雪の日

(へ調二拍子)

優美 = 納所氏

1. フルヨ フルヨ ウレシキユキ  
2. イザヤ イザヤ ユキナゲセン

ヤスミ ナク フルヨ ツモルヨ  
ユキダ ルマ ツクイ アソブ

オホソラ クーラーク  
トヒコヨ トモヨ

オホザマシロク  
トモヨトヒロヨ

雪の日

四

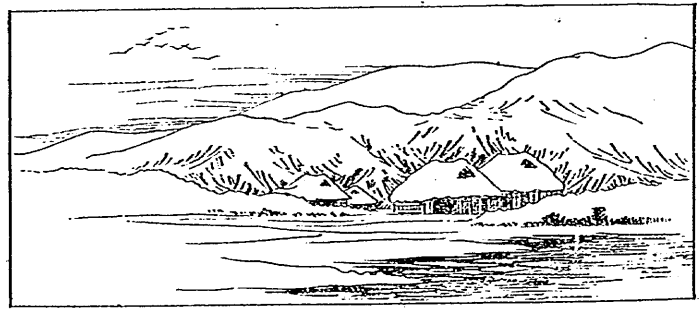
## 雪の日

佐々木信綱氏

一 降るよふるよ、うれしき雪、  
やすみなく、ふるよ積るよ、  
大ぞら くらく、

二 いざやいざや、雪なげせん、  
雪だるま、 つくり遊ばん、  
大路 ましろく。

とひこよ 友よ、  
とひこよ 友よ、  
とひこよ 友よ、



雪の日

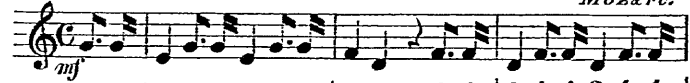
五

# 王政維新

(は調四拍子)

快活ニ

Mozart.



1. トキハカエイロクネンウラガオキノクロ  
2. アマツヒカゲクモリテアマメトシチカサ



3 1 0 1. 3 | 5 3. 5 1 5. 1 | 3 1- 5. 1 |  
フネメカクナラスキテキハーミク  
ネツトキハココニキタリメバク



5 3. 5 1 2. 5 | 3- 0 1. 3 | 5 3. 5 1 5. 1 |  
ニヒトノユメチーユメチヤブヤサマ  
フホロビウセチークニノヒカヤカサ



3 1- 5. 1 | 5 3. 5 4 2. 5 | 1- 0 ||  
ツミクニヒトノユメチー  
ヤクキミガミヨトナリメ

王政維新

六

## 王政維新

佐々木信綱氏

一、時は嘉永六年、

浦賀沖の黒船

高く鳴らす汽笛は、

みくに人の夢を、

夢を破りさましたつ、

みくに人の夢を。

王政維新

二、天つ日かげくもりて、

あまた年を重ねつ、

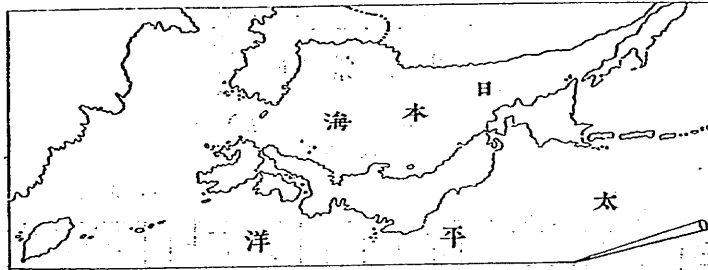
時はここに來りぬ、

幕府はろびうせて、

國の光かがやく、

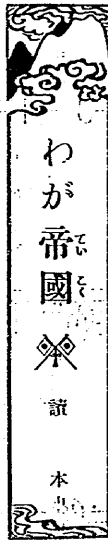
君が御代となりぬ。」

七



わが帝國

世界に、まだなきわが國柄よ。  
 ためしもあらぬ、明治の御代よ。  
 雲間に、そびゆる山のこづくに、  
 動かす、かはらぬ、わが國柄よ。  
 野原を流るる川のごとくに、  
 進みて、やまぬ、明治の御代よ。  
 あゝ、わが國はよき國柄よ。  
 明治の御代は、さかゆる御代よ。



わが帝國

(と調二拍子)

速クナク 納所氏

わが帝國

メロディ notation with lyrics and fingerings:

セカイニマダナキワガクニガラヨ  
 ノハラチナガルルカハノゴトクニ

タメシモアラヌ明治ノミヨヨ  
 スミテヤママ、、、、、

クモニソビユルヤマノゴトクニ  
 アソガクニハヨキクニガラヨ

ウゴカズカハラソガクニガラヨ  
 メイザノミヨハサカユルミヨヨ

わが帝國



# 昔は荒野

(と調四拍子)

小出氏

爽快ニ



	1.	2	3	3	5.	5	5	3	1.	3	2	6	5-0
1.	ミ	ソ	タ	ス	コ	ム	ゲ	ン	イ	ク	ヒ	ク	リ
2.	コ	ー	レ	ハ	ト	フ	ー	ノ	エ	ソ	ノ	ト	チ
3.	カ	シ	マ	シ	カ	ア	レ	ル	イ	ラ	ー	ミ	ン
4.													



	3.	3	5	3	2.	3	1	1	6	5	3.	2	1-0
カ	イ	コ	ク	ク	カ	オ	ム	ク	サ	ホ	ラ	マ	ク
ノ	テ	ヒ											



	5.	5	5	5	3.	3	3	3	2	4	3.	1	2-0
ツ	メ	ア	セ	キ	ヒ	ヨ	ル	ヒ	テ	ラ	セ	ド	モ



	3.	3	5	5	3.	2	1	1	6	5	2.	3	1-0
ミ	チ	ユ	ク	ヒ	ー	ト	レ	ノ	ア	ト	モ	ナ	シ
カ	イ	タ	ク	セ	ラ	ト	ラ	シ	ホ	ッ	カ	イ	ド
ナ	イ	タ	ニ	オ	ト	ト	ノ	ズ	ナ	リ	ニ	ケ	リ
ス	ミ	タ	ル	ヒ	ト	ト	ラ	ー	ア	レ	バ	コ	ソ

## 昔は荒野

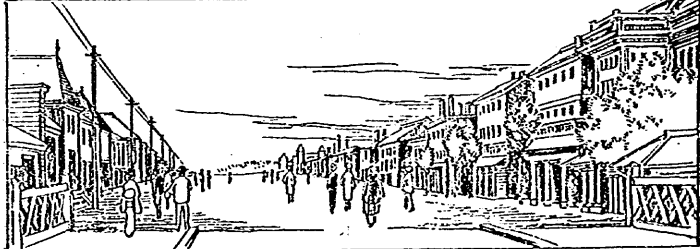
大和田氏

一 見わたす 荒原 幾百里、三年 年ふゆる、移住民  
 風に波たつ、草高く、  
 月日は夜晝 照せども、  
 道行く人の、跡もなし。

二 是は昔の、えぞの土地、  
 今 はめでたき、大御代の、  
 めぐみの露に、うるほひて、  
 かいたくせられし、北海道。

三 かくまで 荒野の、開けしは、  
 草刈りはらひ、熊を逐ひ、  
 千辛萬苦、堪へ 忍び、  
 住みたる人の、あればこそ。

四 かくまで 荒野の、開けしは、  
 草刈りはらひ、熊を逐ひ、  
 千辛萬苦、堪へ 忍び、  
 住みたる人の、あればこそ。



昔は荒野

11



二 火のほにむせぶ、大江戸を、

あとに見なして、大木曾、小木曾、

木をかひしめて、多くの利益、

得たるがすなはち、さき見る智恵よ。

三 たきつせ 早き、大堰川、

ほりて 渡さらうて、舟かよはせて、

多くの人に、あまたの便利、

あたへしいさは、今なほのこる。

四 ながれも淀の、

川口に、

どろをさらうて、

島をばつきて、

安治川といふ、

その名は今も、

流れてつきぬ、

川村瑞軒。



# 籠の鳥

(へ調四拍子)

中等ニ

高濱氏

1. アサバンスリエイダグイテ  
 2. ソラトアトリチウラヤンテ  
 3. ターノシカリケルモリノカチ

ミヅイダグイテクラースミハ  
 カナシミンサケアソノコエモ  
 カヘシタマハバアサーヒサス

フクロモタカモタカヨラズ  
 タカネチハルトホメラレテ  
 オメザメゴロニニハニキテ

シヤハセモノートヒトハミン  
 ハヤヒトトセチスギニケリ  
 ヨイネテナカーンイツノヒモ



一 朝晩 すりゑ、いただいで、 水 いただいで、 くらす身は、  
 ふくろも 鷹も、近よらず、

仕合せものと、人は見ん。

二 空とぶ鳥を、うらやんで、  
 かなしみさけぶ、その聲も、

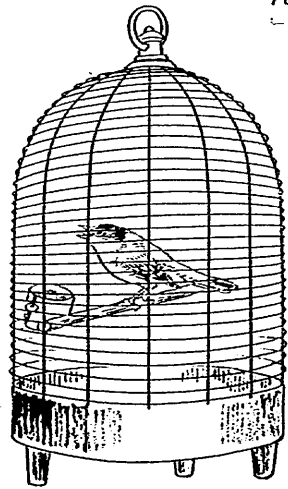
高音をはると、ほめられて、

はや一年を過にけり。

三 たのしかりける、森のうち、

返したまはば、朝日さす、

おめざめころに、庭に来て、 よい音でなかん、いつの日も。』



# 勅語奉答

(に調四拍子)

小山氏

勅語奉答

*p*  $\text{♩} = 84$

1-23 | 6.6 5 2 | 3 4 4 3 | 3-2- | 1-23 | 6.6 5 2 |

ア-ヤニ カシコキ スメラギ ノ ----- ア-ヤニ タフトキ

3 5 7 6 | 5-0 | 1-7 6 | 5 5 4 3 | 2 3 4 5 | 4-3- |

スメラギ ノ ア-ヤニ タフトク カシコク モ-----

*f*  $\text{♩} = 100$

1-7 6 | 5 5 4 3 | 6 4 3 2 | 1-0 || 2-22 | 5 4 3 2 |

ク-ダシ タマヘリ オホミコト コレゾ メテタキ

*mp*

4 3 2 1 | 3-2- | 5-55 | 6 5 4 3 | 5 5 4 3 | 2-0 |

ヒノモト ノ ----- ク-ニノ チシヘノ モトキナ ル

# 勅語奉答

(つづき)

勅語奉答

*P* *mp*

2-22 | 5 4 3 2 | 4 3 2 1 | 3-2- | 5-55 | 6 5 4 3 |

コレゾ メテタキ ヒノモト ノ ----- ヒトノ チシヘノ

*rit.* *mf*  $\text{♩} = 84$

5 5 4 3 | 2-0 || 1-23 | 6.6 5 2 | 3 4 4 3 | 3-2- |

カガミナ ル ア-ヤニ カシコキ スメラギ ノ-----

*f*

1-23 | 6.6 5 2 | 3 5 7 6 | 5-0 | 1-7 6 | 5 5 4 3 |

ミ-コト ノ ママニ イソシミテ ア-ヤニ タフトキ

*Molto rit.*

2 3 4 5 | 4-3- | 1-7 6 | 5 5 4 3 | 2 3 4 5 6 7 | 1-0 ||

スメラギ ノ ----- オ-ホミコトニ コタヘ マ-ツラン

勅語奉答  
【一其】  
勝氏

あやに畏おそき すめらぎの、あやに尊たうとき すめらぎの、  
あやに尊たうとく 畏おそく も、下くだし給たまへり 大おほ 勅ちく 語ご。

これぞめでたき日本の

國の教の もとゐなる、  
基

これぞめでたき日本の

人の教の かがみなる。」

あやに畏おそき すめらぎの、みことのままに いそしみて、  
あやに尊たうとき すめらぎの、大御心おほみこころに答へまつらん。」

朕惟ただフニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇はルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト  
深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥  
ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ  
此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ  
恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ  
啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重  
シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇  
運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラ  
ス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン  
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守  
スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕  
爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ咸其德ナ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽

# 勅語奉答

(調四拍子)

歌ヲ込メテ (其二) 納所氏



3 3 3 2 | 1 1 6 1 | 5 1 2 3 | 2-0

1. クーニノ チシヘノ モトキソト  
2. コノチホ ミーコト カシコミテ



3 3 5 5 | 4 3 2 1 | 2 1 2 3 2 | 1-0

カーミヨ コノカタ カハリーナ キ  
オホミコ コーロニ ムクレーベ キ



6 6 1 6 | 5 5 1- | 6 6 4 4 | 3-0

マコトノ ミチチ アキラメテ  
マナビノ ミチニ イソシムハ



5. 5 3 2 | 1 1 4 4 | 3 2 1 2 3 | 1-0

グダサセ タマヒシ ミコートノ リ  
ソレラノ ナスベキ ツトメナ リ

勅語奉答

三三

一 國の教の、

神代基このかた、  
もどあぞと、  
かはりなき、

まこと説の道を、  
明らめて、

下させ給言ひし、  
みことのり。

勅語奉答

二 この大みこと、

大みこころに、  
かしこみて、

學びの道に、  
いそしむは、

われらのなすべき、  
つとめなり。

三三

## 勅語奉答

【其二】



佐々木信綱氏

森



卒業の歌

大和田氏

一 四年の學業、今日終へて、

卒業證書を、賜はりぬ、

君の御めぐみ、師の御恩、

父母のなさげぞ、有がたき。

二 今まで受けたる、教をば、

明日よりわが身に、行ひて、

忠孝二つの、道をふみ、

勤勉正義の、人たらん。

卒業の歌

(に調四拍子)

想チ込メテ

田村氏

卒業の歌

1. ヨネンノガクギョーケフチヘテ  
2. イママテウケタルチシヘチバ

ソツギョージョーショチタマハリヌ  
アスヨリツガミニオコナヒテ

キーミノミメケミシノゴオン  
チュウコーフタツノミチチフミ

フーボノナサケンアリガタキ  
キンベンセイギノヒトクラン



K135.7



明治三十九年四月十四日印  
明治三十九年四月十八日發  
明治三十九年九月二十七日訂正再版印刷  
明治三十九年九月三十日訂正再版發行

尋常小學唱歌第四學年下  
定價金拾錢



著者 佐々木吉三郎  
同 納所 辨次郎  
同 田村虎藏  
發行者 東京市日本橋區新右衛門町十六番地  
株式會社 國定教科書共同販賣所  
代表者 大橋新太郎  
印刷者 東京市京橋區築地三丁目十一番地  
野村宗十郎  
印刷所 東京市京橋區築地二丁目十七番地  
株式會社 東京築地活版製造所

發行所

東京市日本橋區新右衛門町拾六番地  
株式會社 國定教科書共同販賣所

